

せたな町総合計画策定審議会「第2回福祉文教専門部会」顛末書

- 1 日 時 平成19年7月30日(月) 午前10時～
- 2 場 所 せたな町役場第3会議室
- 3 出席委員 7名
田中基己部会長、弦巻淳副部会長、江上恭司委員、千葉憲之委員、亀井久子委員、工藤芳江委員、桂田富次委員
- 4 欠席委員 3名
佐々木秀雄委員、羽二生みつ子委員、関田禮子委員
- 5 せたな町出席者
道高復調長、久保教育長、小林瀬棚総合支所長
(事務局) 成田政策調整課長、福土課長補佐、吉田主任、白戸主事

6 会議の概要

(1) 前回協議事項の確認

議案の2ページ～4ページにより、意見等の概要について確認した。

(2) 計画本体枠組みの確認

これから計画本体の原案を作成するに当たり、計画全体の構成案について、議案の5ページ～6ページのとおり確認した。

全体の構成は、一般的に使われている内容を基本とし、基本目標の6つの柱は、合併時に作成しました新町建設計画と同様としております。

各委員等からの主なご意見と回答

基本目標5「豊かな人間性と文化を育むまち」の中から

Q 地域間交流の考え方として、他町との交流と合併後の各区との交流があるが、主としては住民交流となるのではないか。

A 現在は他町の交流はないが、将来においての必要性の意味から地域間交流を考えている。住民交流については、各分野ごと今後重要でありそれぞれで整理したいと考えているが、最終的には再度検討し整理したい。

基本計画全体について

Q 基本目標ごとの達成目標が必要ではないか。また、地域の特色を生かした独自色をポイントを絞って示し、住民がまちづくりの方向性を理解しやすくすべき。

A 目標を明確にするのが本来の姿であるが、総合計画の性質上、他の計画に委ねたい。ポイントを絞る点については、各分野ごと何が大事か、安心して暮らせるまちづくり、地域の特性を生かしたまちづくりについて、「基本理念」の中で整理し、まちづくりの目標をわかりやすく示したい。

7 今後の作業

今回で専門部会での協議を終了し、次回からは全体の審議会で計画本体の内容審査に入って参ります。

予定としては、8月末に「基本構想」を、9月末に「基本計画」と「実施計画」を審査していただき、10月に最終確認を経て答申し審議会での審議を終了することとしております。